

元気がわら版

庄原市社協だより 12月号【Vol.164】

交流で出会う、楽しい一日

～家族介護者交流事業～



自宅で介護をしている方を対象に、庄原市全域での交流会を開催しました。

ひとりひとり介護をしている状況には違いはありますが、介護をする中で抱える悩みは共通する点も多くあります。家族介護者交流事業では、楽しみながら介護者相互の交流を図り、心身のリフレッシュできる時間を過ごしていただけるよう実施しています。

目次

P1… 家族介護者交流事業

P2… 2018 みんなつながる地域交流会

P3… 2018 みんなつながる地域交流会

P4… 元気報告(高野)・リレーレポート“ここで暮らしたい!”

P5… 小地域サロン紹介(庄原・総領)

P6… よろず相談・おでかけ応援隊寄付者紹介
おしらせ・広告

P7… 寄付者紹介

P8… 地域のものがたり(庄原)・広告

2018「みんなつながる地域交流会」

第1回
10/22

講演テーマ 「クラウドファンディングって何？」

「クラウドファンディング」とは、地域課題の解決やアイデアの実現など「ある目的」のためにインターネットを通じて不特定多数の人から資金の出資や協力を募ることをいいます。

クラウドファンディングの内容も地域活性化・社会貢献など色々です。

クラウドファンディングに挑戦するには「なぜそれが必要なのか？

(ストーリー性)」と「魅力あるリターン(返戻品)」そして、何より

大事なのが「共感」を得ることです。

クラウドファンディングから助成金まで、達成したいこと、集めたい金額によって情報収集と手段を選ぶこと、やりたいことをどのように伝え、如何に多くの方々に共感してもらうかがポイントです。

プロジェクトを終えても、次につなげる工夫が必要です。



ひろしま市民活動ネットワーク HEARTtoHEART
事務局長 竹内 瞳さん(准認定ファンドレイザー)

報告者



READYFOR株式会社(東京都文京区)
事業開発部マネージャー ミツ瀬 友亮さん

クラウドファンディングには3種類あり、寄附型(社会貢献)では長野県の「こどもドクターカー」の購入、購入型(ビジネス)では、5万円台最新レーザー加工機の事前販売、大学の研究開発等、ふるさと納税では広島県・山形県・青森県など県の取り組みがあります。我社は、全国一のシェアを誇っています。実行者の動機としては「資金調達したい」「最初の顧客を募りたい」「サービス・商品をPRしたい」「商品のニーズを確かめたい」などです。支援者の動機としては「実行者や活動を応援したい」「リターンが欲しい」などとなっています。アイデア申請からプロジェクト公開、そして目標達成までノウハウと経験を活かし、しっかりサポートします。

中国新聞社が運営する広島発のクラウドファンディングサイトです。目的達成型と実行確約型の2種類があり、目的達成型は目標額に達成した場合のみプロジェクトに着手するやり方と実行確約型は目標金額に到達しない場合でも集まった金額を調達しプロジェクトに着手するやり方があります。また、中国新聞の紙面も活用しながら身近な存在として、さらに、日本経済新聞や中日新聞などの掲載サイトとも連携し情報発信に努めています。大手サイトのブランド力・発信力にはかないませんが、地方紙としての強みを活かし多くの方々の共感を得られ目標達成できるよう支援していきます。

報告者



「カナエンサイ夢」中国新聞社地域ビジネス局
営業部担当部長 黒神 洋史さん

報告者



棚田カフェイニミニマニモ 店長
友松 裕希さん

安芸太田町の地域おこし協力隊員として3年間「井仁の棚田」を活用した活性化に取り組みました。四方を山に囲まれた美しい棚田を活かし保存する会「いにびちゅ会」を結成し、田植え・稲刈り体験の実施、棚田オーナー制度の導入、大学生などの受入れなど行っています。棚田を眺めゆっくり滞在する場所が欲しいとの要望も多く、空家の活用を考えましたが所有者の理解が得られずカフェの新設を始めました。自己資金・国県の補助金・住民の寄付・地域おこし協力隊の起業資金、そしてクラウドファンディングで資金調達を図りました。プロジェクトの説明、スケジュール、支援金の使い道、リターン(返戻品)を決め、目標額を100万円とし、情報発信をした結果、支援者64人、支援総額約120万円となり「棚田カフェ」が実現しました。

～地域ですっと暮らしたい～

「大崎下島」は、歴史を誇るレモン生産地として「黄金の島」とよばれていましたが、農家数も高齢化で減少し、畑は荒れてしまいました。

そこで、島の伝統技術で島を再生しようと「とびしま柑橘倶楽部」を結成し農家のみなさんと生産の再生、商品開発など議論し中長期なビジョンを見据えながら広報活動、6次産業化、大都市での販路拡大など、一歩ずつすすめてきました。活動をすすめるにあたり目標額300万円と設定し303万円をクラウドファンディングで資金調達する事ができました。

このプロジェクトを知り活動に共感してくれた広島県の学生団体「STYLE」が参画し、若い力と地域の底力が協力することで活動が広がり耕作放棄地から畑への再生活動が加速しました。この島のみかんやレモンが農家の方だけでなく生産、加工、小売、消費をつなぎ、多くの方々の宝として再生する新たな展開をめざします。



報告者

 一般社団法人 とびしま柑橘倶楽部
 秦 利宏さん

 第2回
 11/17


講師

 医師・元夕張市診療所長 南日本ヘルスリサーチラボ 代表
 森田 洋之さん

講演テーマ

「人口減っても、地域で幸せに暮らしたい 夕張市の経験（地域と医療）に学ぶ」

財政破綻し総合病院（171床）から診療所（19床）へ

高齢化率日本一の市である夕張市は平成19年に市の財政が破綻し、夕張市立総合病院（171床）は閉鎖され、新たに夕張市立診療所（19床）が設立されました。救急車も隣町の病院へ搬送されることになりました。

死亡数に占める老衰の割合が増える（医療費も減少）

さて、総合病院がなくなり地域の方々の生活はどうなったのでしょうか？実は、これを機に「高齢者一人当たりの医療費」は減少傾向が続き、救急出動件数も減少しました。

さらに、死亡総数は横ばい状態が続き、男性の場合は脳血管障害、悪性新生物、心疾患、肺炎、総死亡数とも減少しました。女性の場合は、脳血管障害と悪性新生物、総死亡数は微増したものの、心疾患、肺炎は大きく減少しました。特に、男性、女性とも死亡総数のうち老衰の占める割合が大きく伸び肺炎死が半減しました。

患者の生活に寄り添う在宅診療にシフト

これは、総合病院では、今まで行われてこなかった「肺炎球菌ワクチン接種」が推奨され「口腔ケア」に重点的に取り組んだ成果といえます。新設された診療所は、今までなかった在宅療養支援診療所となり、在宅訪問診療患者が増加しました。通院困難な在宅患者には、24時間の緊急往診対応・月2回以上の定期訪問診療が提供されるようになりました。アンケートでは多くの方が在宅で最後を迎えたいと答えた方が多く、患者の生活に寄り添い在宅での診療にシフトしていきました。地域とのかかわりが深い在宅での療養は患者に笑顔を取り戻し死に対する意識が徐々に変わっていたように思えます。天命を全うし、わが家で死を迎えるケースが増えて行きました。

「地域の絆」「市民の意識改革」「医療と介護の連携」が大事

在宅医療に取り組んできて、一番大切なことは、患者の「生活」に寄り添い患者の「生活スタイル」を大事にすることのように思えます。特に住み慣れた地域の中であって笑顔で暮らせる環境「地域の絆」をつくること、そして、無理な延命治療をせず天命を全うし死をむかえるという市民の「意識改革」、そして最後に、在宅での治療生活を可能とする「医療」と「介護」の連携だと思えます。夕張市においては、財政破綻後、病院医療サービスから介護系サービスに社会資源をシフトさせることによって、住民の健康被害を最小限に抑えながら、医療費、また医療費+介護費の合計額を削減できる事ができました。そして地域に住みながら住民での在宅治療を可能にし、わが家で最後を迎える環境ができてきたと感じています。

高野地域センター 元気報告



「怖いと不安」を「嬉しいと安心」に

「少しの段差でも、ガタッと揺れて怖い」「目が見えにくいと、とても不安になる」

高野小学校の6年生12名が高齢者や障がいのある方の気持ちになり、自分にできることを考える“疑似体験学習”を保健福祉センターで行いました。高齢者や障がいのある方が抱く不安感を、少しでも解消するには？どうすれば安心して生活ができる？など、体験学習を通してたくさんの気づきがあり、「身近に困っている方がおられたら声をかけ、自分たちにできる手伝いがしたい」と、6年生の頼もしい言葉。

みんなで、共に育んだ「ふだんのくらしのあわせ」＝「福祉」という温かい思い。これからも高野町、そして庄原市のみんが安心して暮らせる地域づくりを「ふくし教育」を通して一緒に考えていきましょう。



リレー リポート



ここで暮らしたい！

比和
自治振興区

比和協議体「あんしんづくり会議」報告

サロンや集まりの場等で調査した「どこに相談していいかわからない」ちょっとした困りごとの解決策のひとつとして“比和便利帳”を配布しました。今後もさらに内容を充実させていきます。

さらに、昔から工夫されてきた知恵や、生きがいにもなっている得意なことを集め、「地域のお宝」として、活用できないかも協議する予定です。



また、今年の豪雨災害後、日頃の声の掛け合いが、避難の際に役立ったという意見もあり、今春に共有された“見守りネットワーク対応マニュアル”についても、もっと具体的な行動ができるよう内容を見直し中です。

地域内の小さな課題でも、あんしんづくり会議と地域ケア会議のそれぞれで協議し、それを21の団体に構成される「比和まるごと家族会議」で共有することで、比和全体の課題として取り組む仕組みを作っています。

12月2日(日) 比和ふれあいセンターで開催された「もっとまるごと+ゆめのいえ おもちつき」を次号でご紹介します。



わたしの地域の^まち^ち小地域サロン

～いろいろな地域のサロン活動をご紹介します～

諏和会（庄原地域 七塚西自治会 諏訪）

●活動を始めたきっかけ

「家事や仕事ばかりではなく、地域の中で、ちょっとしたお喋りのできる場所が欲しいよね」「家にいると地域の情報にも疎くなるしね」

そんな皆さんの声が集まり、平成25年に気軽に寄れる集まりの場「諏和会」が発足しました。



●サロンのイチオシ

皆食べることが大好きなので、元気の源であるお菓子セットを各自目の前にセットし、サロンがスタート。皆それぞれに話題があるため、話しが途切れることなく弾みます。

「家ばかりおるけえ、こうやって集まって話しをするのが楽しみ」と、皆さん時間と場所を共有して交流するこの時間をとても楽しみにしています。

こういった人との交流が、地域での支え合いや、助け合いのきっかけづくりになると思いますので、これからもこの場所を大切にしていきたいと思っています。

段畑ほほえみ会（総領町 亀谷）

●活動を始めたきっかけ

社協から声を掛けて頂いて、平成27年にサロンを立ち上げました。その頃の私達は、顔を合わせることが少なくなっており、「おしゃべりをしたり、料理を教え合ったりしたいね」と口々に言っていた時期がありました。気軽に集まって、笑顔でほっこり出来るといいねと始めたサロンですが、今では、みんなで集まると話に花が咲き、大笑いの楽しい会になっています。



●サロンのイチオシ

定例ではなく、みんなの都合に合わせて日程を決めており、年間7～8回開催しています。

内容は、簡単な手芸や料理をしたり、脳トレで大笑いしたり、歌を歌って声を出し、習ってきた健康体操をみんなでやってみたりと介護予防になることを心がけて行っています。時には出前講座を企画することもあり、その際は男性の参加者もあります。これからも、気に掛け合うことを大切に続けていきたいと思っています。

よろず相談のご案内

相談は無料で、24時間365日職員が対応しています。なお、夜間から早朝（緊急時等）は、下記の専用電話にご連絡いただくと担当者に取り次ぎます。

緊急時等専用電話 ☎080-5239-4085

●法律相談（弁護士相談）
 ※予約制でお一人の相談時間は30分以内です。
 日時：1月11日（金）12:45～15:45
 場所：庄原市ふれあいセンター

（庄原市西本町四丁目5-26）

相談内容：賃貸に関するトラブル、交通事故、相続、離婚、借金問題、消費者トラブルなど

●司法書士相談
 ※予約制でお一人の相談時間は45分以内です。
 日時：1月16日（水）13:00～16:00
 場所：庄原市ふれあいセンター

（庄原市西本町四丁目5-26）

相談内容：不動産の名義変更、相続登記・遺言、借金の整理、成年後見、会社の登記、簡易裁判所訴訟代理など

その他の相談にも応じています。お近くの社会福祉協議会にお問合わせください。

地域福祉課 ☎(0824)75-0345

外出支援事業 おでかけ応援隊協力寄付

11月1日から11月30日までの間に、ご協力いただいた皆さまです。

庄原地域

三吉和宏行政書士事務所 様（2口）
 (有)永宗組 様
 HOME SPRING 様
 お好み焼き コバヤシ 様

東城地域

(有)三上薬品 様
 田口石油興業(株) 様
 ツチハシ三誠堂 様
 (株)総商さとう ウィー東城店 様
 (有)吉川薬局 様
 (有)カーショップ東城 様
 延城堂 様

口和地域

お食事処かがわ 様

総領地域

藪木 安仲 様

.....
 ご協力いただいた皆さま、ありがとうございます。

フードバンクへ食料品の提供をお願いします

お知らせ

お中元・お歳暮などでいただいた贈答品でご家族で食べきれない食料品などありましたらご提供ください。

お近くの地域センターで受付しています。食事の確保でお困りの方々の支援に活用させていただきます。



※賞味期限が明記されて2ヶ月以上ゆとりがあるもの

広告

広島弁護士会所属（弁護士登録番号47310）

三浦益隆法律事務所

弁護士 三浦 益隆

業務内容

- 離婚・相続などのご家庭の問題
- 債権回収・契約書チェックなどの企業様の法務
- 交通事故・近隣トラブルなどの事故対応
- その他法律業務全般・訴訟代理

〒727-0012

広島県庄原市中本町一丁目3-1 渡辺ビル2階
 庄原警察署隣 レッツ様2階

☎0824-74-6310

<https://www.miuramitsutaka-law-office.com/>

広告

「この社会あなたの税がいきている」

ーインターネットで申告・納税できるー

利用推進運動中

e-Tax (国税電子申告・納税システム) <http://www.e-tax.nta.go.jp>



めざします
 よき経営者による 正しい納税で
 企業の繁栄と社会への貢献

公益社団法人
庄原法人会

〒727-0011 広島県庄原市東本町1-2-22(庄原商工会議所会館内)

TEL 0824-72-1889(FAX兼用)

H P <http://www10.ocn.ne.jp/~shk/>



～海もいいけど 山もいい 出逢いが私の宝物～

●レポーター名 庄原市川北町にお住まいの
藤原 剛さん 三枝子さん

3年前、退職を機に湘南の茅ヶ崎から生まれ故郷の川北町に夫婦で帰ってきました。田舎ではゆっくりとした生活を楽しむことと、何か地域のお役に立てることはないかとの思いで、社協のボランティアに登録させていただきました。

同時に北自治振興区からお声が掛かり、ひとり暮らし高齢者等巡回相談員、放課後子ども教室に参加。また、友人の誘いで庄原子どもミュージカルや敦盛さん保存会、楽笑座のまかない食堂のお手伝いと、お付き合いの場が広がり、さらに地域の広報部や男性料理教室、ふれあい給食等々、妻も巻き込み忙しくも楽しい毎日を過ごしています。

退職後は『きょうようときょういく』（今日用がある、今日行くところがある）が大切と言われていましたが、有り過ぎの毎日。お陰様で地域の大先輩や子ども達、ご近所や友人等々、地域とのふれあいで元気をもらっています。

これまでの多くの出逢いが新たな自分の人生の財産と思い、今後もこの財産を増やしていきたいと思っています。



広告 住まいの事なら何でもご相談下さい。

ながなか 長岡商事株式会社



住まいの修理、新たなお提案、施工、アフターケアまで地元ならではのネットワークで、皆さまの大切なお住まいをより快適にするお手伝いをしています。

☎0120-184-268

広島県庄原市是松町5020番地40 TEL0824-72-0561

広告



相続、空き家問題、成年後見等でお困りの方、
あなたの世代で解決しませんか？

業務のご案内

- 不動産の名義変更 ●成年後見
- 相続登記・遺言 ●会社の登記
- 借金の整理 ●簡易裁判所訴訟代理等
- 詳しくはホームページに記載しています。

庄原 司法書士

検索

広島北部司法事務所

新住所 〒727-0012 広島県庄原市中本町一丁目8番16号 TEL0824-72-2315(要予約)

広告

ゴミでお困りのことなら、
なんでもお気軽にご相談ください！

家の片付け・遺品整理・引越し
等で、お困りのゴミについてお客様に
ピッタリのプランをご提案いたします！
見積もり・相談無料！

詳しくは
ホームページを
ご覧ください。



<http://www.fukuokasangyo.co.jp>



有限会社 福岡産業

一般廃棄物収集運搬業許可 庄原第101号 TEL: 0824-73-1102
産業廃棄物収集運搬許可 03418048979号 FAX: 0824-73-1103

親切・丁寧・安心を心常に！

広島県庄原市宮内町707-1
TEL: 0824-73-1102
FAX: 0824-73-1103



社協だより

●発行日:平成30年12月20日 ●発行:社会福祉法人 庄原市社会福祉協議会 庄原市西本町四丁目5番26号
●TEL:(0824)72-7120 ●FAX:(0824)72-8512 ●E-mail:info@shakyoshobara-city.or.jp ●印刷:シンセイアート株式会社